

第7回 軽金属女性未来賞

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される女性研究者または女性技術者に贈る。



水林 舞 君
(YKK株式会社)

水林 舞君は、アルミニウム合金を始めとしたねじり戻し加工による金属材料強化に関する研究において、材料中の結晶粒を微細化し、時効によって強度を制御できること、また、粉末冶金を用いた放電プラズマ焼結による機能性材料の研究では、温度傾斜法によって焼結温度の異なるセラミックスと金属の同時緻密化、混合粉体の焼結、熱膨張差によるクラックの発生を阻止できることを立証した。これらの結果を用いてアルミニウム粉末と水酸化アルミニウム粉末の一体焼結によって緻密なAl/Al₂O₃傾斜機能材料創成に成功した。企業においては、金属材料および樹脂材料全般の研究分析に従事し、定性・定量分析、組成分析、熱分析や各種物性評価により企業独自の樹脂材料開発を行い、新製品の市場投入に成功している。また、CADデータがない製品においてもX線CT技術を駆使した高精度な解析が可能なシステムを実用化し、社内・技術開発賞を受賞した。現在は、ダイカスト製品における焼付き対策として成膜研究を行い、新成膜技術の実用化を目指している。

以上のように、同君の軽金属分野での研究開発の取り組み姿勢と内容は、軽金属女性未来賞を受賞するに相応しく、今後の活躍がさらに期待される。